

三菱ふそう
エアロミティ
MM.MK.MJ '94MODEL

フィンガーコントロールトランスミッション

整備解説書



三菱ふそう

エアロミディ

整備解説書

フィンガーコントロール トランスミッション

まえがき

この整備解説書はフィンガーコントロールトランスミッションの整備にあられる皆さまのために、調整要領及び整備作業要領を記載してあります。

正しい整備、無駄のない迅速な整備を行うため、本書を十分ご活用されますようお願いいたします。

本書の他に次の整備解説書がありますので併せてご活用ください。

「エアロミディ 整備解説書」(コードNo.)

- 6D1 型エンジン…………… (2037908E)
- シャシー…………… (2033418C)
- エレクトリカルシステム…………… (2033420C)
- パワータード…………… (2037909E)
- ABS/ASR …………… (2033419C)

ご不明な点につきましては、最寄りの三菱ふそう販売会社にお問い合わせください。

本書に記載してあります諸元及び整備数値などは、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

1994年7月

電子コントロールユニット(ECU)の取扱い注意!

このシステムには ECU が使われています。取扱いや整備するときには次の点に注意してください。

1. 雨水や洗車時等の水が直接 ECU にかからないようにしてください。万一、水がかかったときには速やかにふき取ってください。
2. ふたをみだりに取外したり、塗装しないでください。
3. ECU を車両から取外す場合は、まずバッテリーの⊖端子(アース端子)を外した後コネクターを取外してください。取付けるときはこの逆に行ってください。
4. 車両各部の補修のためアーク溶接を行うときはバッテリー⊖端子及び ECU のコネクターを外してから行ってください。なお、溶接機のアースはできるだけ溶接部に近いところでとってください。

目 次

本書の見方	2
• 記載内容の説明	2
• 用語, 単位	7
• 略 語	7
• 整備作業時の注意事項	9
• 標準締付けトルク表	16
• コネクター表示一覧	18
諸 元	21
構造・作動	22
トラブルシューティングの進め方	45
ダイアグコードごとの点検〈除く MM■18JF〉	59
症状ごとの点検〈除く MM■18JF〉	149
一過性不具合の点検	160
車上で点検, 調整	161
• 車載後のシステム作動確認	161
チェンジレバーユニット〈MJ, MK, MM8■6〉	164
〈MM■18〉	172
ギヤシフトユニット	178
シフトシリンダー Assy	190
セレクトシリンダー Assy	194
アッパーハウジング Assy	198
フィンガーコントロールトランスミッション ECU	201
フィンガーコントロールトランスミッション	205
レジャーリングバルブ	207
エマージェンシー SW〈MJ, MK6■6, MM8■6〉	208
〈MK■18〉	211
ディスプレイユニット	213
車速センサー	214
ウォーニングブザー／リレー	215
3-Way マグネットバルブ	216
クラッチ SW	217
オイルプレッシャー SW	219

本書の見方

記載内容の説明

- **諸元**

整備に関する内容について記載している。

- **構造, 作動**

主な装置についてその構造及び作動について記載している。

- **トラブルシューティング**

故障の症状と要因を対比して記載している。

- **車上で点検, 調整**

車載状態で行う点検, 調整を記載している。

例：ストールテスト

：ATF の交換

- **整備要領**

原則として見開きページで整備要領が理解できるように説明し, 補足説明として整備の要点を記載している。

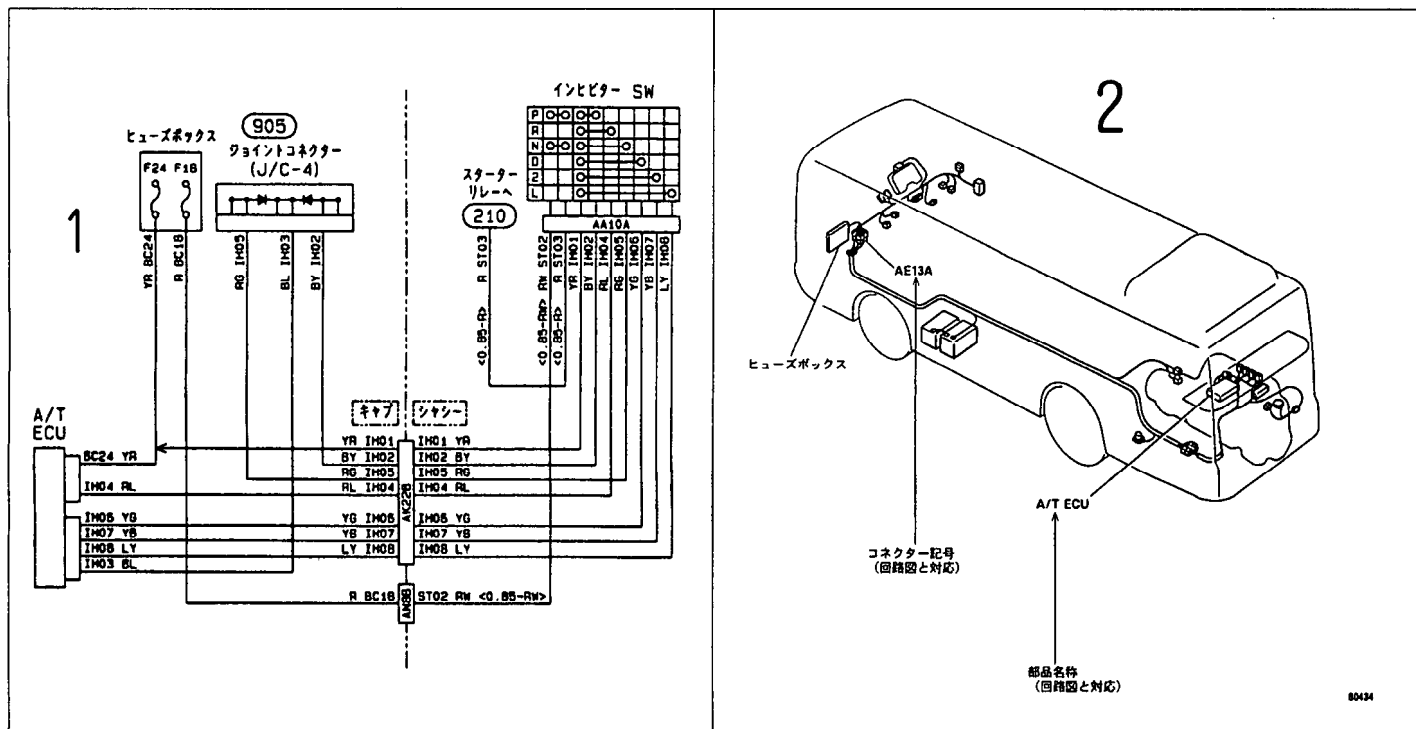
- **回路図**

各システムごとの回路を記載している。

- **部品配置図**

回路図に記載されている部品, コネクター及びハーネスの配置を図示している。

本書の体裁について



1. ……回路図

2. ……部品名称, コネクター及びハーネスの配置図

3. ……分解, 組立て図: 装置の分解立体図を示す。
3a…部品名称は分解順の一例を示す。

4. ……整備基準, 締付けトルクを部位ごとにまとめて記載している。

5. ……給油脂及びシール剤使用箇所を部位ごとにまとめて記載している。

6. ……使用する特殊工具をまとめて記載している。

7. ……1~6までの説明では, 整備要領が理解しにくいときに補足説明で整備の要点を記載している。
(3~7についての詳細説明はエンジン編, シャシー編整備解説書と同様なので説明を省略する)

7

◆整備の要点◆

① A/T Assy (取外し)
* ガストカバー3を取外す。

② クランクハンドルのエンジンのクランクシャフトプーリー取付け穴へ挿入してクランクし, 作業後にボルト4がくまるようにする。
* 1箇所にも本ページで計8本のボルト4をクランクピンはがらぬ取付けます。

部位	点検箇所	基準値 (内は基本値)	限度	単位
1	ボルト (A/T Assy取付けガストカバー取付時)	4.8kgm	-	-
2	ボルト (ガストカバー取付け)	1.3kgm	-	-
4	ボルト (フライホイールとドライブプレート取付)	2.8kgm	-	-
5	ボルト (リヤクワウンチング)	8.0~11.0kgm	-	-
6	ボルト (A/T Assy取付け)	3.0kgm	-	M10
7	ボルト (プラットフォーム取付け)	4.3kgm	-	-
7	ボルト (ドライブプレート取付け)	8.1±0.2kgm	-	-

部位	箇所	油剤名, シール剤	給油量
9	A/T Assy内トルコンAのハイロッド部Cに塗布	セリコートDR2プラス	-